

2023年度第2四半期 決算補足資料

2023年11月10日

DOWAホールディングス株式会社

経営成績

■ 連結損益計算書

単位：億円（億円未満切捨て）

	2022年度		2023年度		増減			
	上期	通期	上期	通期予想	上期		通期	
売上高	4,018	7,800	3,707	7,050	△ 310	△8%	△ 750	△10%
営業利益	300	446	142	230	△ 157	△53%	△ 216	△48%
経常利益	369	555	218	350	△ 151	△41%	△ 205	△37%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	227	250	131	230	△ 95	△42%	△ 20	△8%

■ 為替・金属価格

	2022年度			2023年度		
	1Q平均	2Q平均	上期平均	1Q平均	2Q平均	上期平均
為替：(¥/\$)	129.6	138.4	134.0	137.4	144.6	141.0
銅：(\$/t)	9,526	7,742	8,634	8,478	8,356	8,417
亜鉛：(\$/t)	3,925	3,269	3,597	2,540	2,429	2,484
インジウム：(\$/kg)	240	230	235	197	241	219

事業環境（2023年度2Q）

廃棄物・リサイクル関連	<ul style="list-style-type: none">・廃棄物処理の受注は堅調・リサイクル原料の集荷は増加、家電リサイクルの処理量は減少
自動車関連	<ul style="list-style-type: none">・自動車の生産が回復に向かい、自動車関連製品・サービスの受注は増加
新エネルギー関連	<ul style="list-style-type: none">・太陽光パネル向けの堅調な需要を受け、銀粉の販売は増加基調
電子部品関連	<ul style="list-style-type: none">・中国市場の停滞により、情報通信関連製品向けの販売が減少
為替相場・金属価格	<ul style="list-style-type: none">・平均為替レートは前年同期比で大幅な円安ドル高で推移・銅、亜鉛及びPGM（白金族金属）の平均価格は下落
エネルギー・資材価格	<ul style="list-style-type: none">・エネルギー価格の高騰や資材価格の上昇を受け、電力代や燃料費、副資材費等のコストは前年同期比で増加

主要製品の動向

※2022年度1Qを100として指数化

		2022年度				2023年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
環境・ リサイクル	国内廃棄物中間処理量	100	88	96	89	102	95
	リサイクル原料集荷量 (小坂製錬向け)	100	106	111	102	112	103
	東南アジア廃棄物処理額	100	103	116	120	104	93
製錬	銅生産量 (小坂製錬・小名浜製錬合計)	100	89	88	108	90	7
	亜鉛生産量	100	71	106	101	96	55
電子材料	LED販売量	100	77	68	45	55	67
	銀粉販売量	100	70	70	62	73	86
金属加工	伸銅品販売量	100	96	98	91	84	93
熱処理	熱処理加工売上高	100	104	113	110	111	121
	工業炉売上高	100	140	164	247	100	156

セグメント別損益（2023年度上期）前年同期比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2022年度 上期			2023年度 上期			増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・ リサイクル	715	52	58	727	55	59	11	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理量の増加 ・廃棄物処理単価の上昇 ・持分法損失の増加
製 錬	2,246	177	235	1,852	48	95	△ 394	△ 129	△ 140	<ul style="list-style-type: none"> ・金属価格の下落 ・電力単価の上昇 ・持分法利益の減少
電 子 材 料	756	28	38	839	5	17	83	△ 22	△ 20	<ul style="list-style-type: none"> ・近赤外LED・PDの減販 ・磁性粉の減販 ・円安による利益増
金 属 加 工	585	32	34	550	19	21	△ 35	△ 13	△ 13	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信関連製品の減販 ・デリバティブ評価益の減少
熱 処 理	132	4	7	148	8	13	15	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連製品・サービスの 需要増加
そ の 他 、 全 社 ・ 消 去	△ 418	4	△ 6	△ 410	4	11	7	△ 0	17	<ul style="list-style-type: none"> ・持分法適用関連会社である 藤田観光の利益増
合 計	4,018	300	369	3,707	142	218	△ 310	△ 157	△ 151	

経常利益の要因別分析

単位：億円（億円未満切捨て）

2023年度2Q累計－2022年度2Q累計	環境・ リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
施策効果・販売増減など	14	△ 46	△ 21	△ 9	8	△ 3	△ 57
うち実収差量（数量差）	－	11	－	－	－	－	11
実収差量（金属価格単価差）	－	△ 80	－	－	－	－	△ 80
外貨建収入為替差	－	15	3	－	－	－	19
原料条件（条件差）	－	10	－	－	－	－	10
払出時価簿価差・期末時価評価差	－	24	－	△ 3	－	－	21
電力代	－	△ 37	－	－	－	－	△ 37
製造原価（減価償却費他）・販管費・開発研究費	△ 10	△ 15	△ 4	△ 0	△ 4	2	△ 33
営業利益増減	3	△ 129	△ 22	△ 13	4	△ 0	△ 157
営業外収支の影響							
・持分法損益	△ 1	△ 4	△ 0	0	－	18	13
・その他	△ 1	△ 7	2	△ 1	1	△ 1	△ 6
経常利益増減	0	△ 140	△ 20	△ 13	5	17	△ 151

セグメント別損益（2023年度上期）5/12予想比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2023年度 上期予想（5/12公表）			2023年度 上期実績			増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・ リサイクル	712	48	47	727	55	59	15	7	12	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理単価の上昇 ・不燃性廃棄物の再資源化の処理増 ・為替差益の計上
製錬	1,782	27	61	1,852	48	95	70	21	34	<ul style="list-style-type: none"> ・金属価格の下落 ・電力単価の下落 ・棚卸簿価切下額の減少 ・持分法利益の増加
電子材料	533	1	7	839	5	17	306	4	10	<ul style="list-style-type: none"> ・近赤外LED・PDの減販 ・銀粉の増販 ・サンプル収入の増加 ・円安による利益増
金属加工	552	19	19	550	19	21	△ 1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信関連製品の減販 ・産業向け金属-セラミクス基板の増販
熱処理	150	8	9	148	8	13	△ 1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連製品・サービスの需要増加 ・一時金収入の受領 ・為替差益の計上
その他、 全社・消去	△ 379	3	△ 6	△ 410	4	11	△ 31	1	17	<ul style="list-style-type: none"> ・持分法適用関連会社である藤田観光の利益増
合計	3,350	106	137	3,707	142	218	357	36	81	

連結貸借対照表

単位：億円（億円未満切捨て）

	2023年 3月末	2023年 9月末	増減		2023年 3月末	2023年 9月末	増減
流動資産	3,790	3,422	△ 367	流動負債	2,091	1,843	△ 248
				固定負債	855	728	△ 126
固定資産	2,762	2,934	172	自己資本	3,448	3,613	164
				非支配株主持分	157	172	15
総資産	6,552	6,357	△ 195	負債・純資産計	6,552	6,357	△ 195
				有利子負債	1,247	908	△ 339
				自己資本比率（%）	52.6	56.8	4.2

- ✓ 設備投資に伴う固定資産の増加はあったものの、金属価格の下落および小名浜製錬との委託製錬契約終了に伴う棚卸資産や売上債権の減少により、当期末の総資産額は、前期末比△195億円の6,357億円となった。
- ✓ 当期末の自己資本比率は前期末比+4.2ポイントの56.8%となった。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円（億円未満切捨て）

	2022年度 上期	2023年度 上期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	261	930	669
税金等調整前四半期純利益	364	213	△ 150
減価償却費	111	117	6
法人税等	△ 199	△ 11	188
棚卸資産	96	598	501
その他	△ 110	12	123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 160	△ 168	△ 7
設備投資	△ 160	△ 179	△ 18
その他投資	0	10	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 28	△ 423	△ 394
キャッシュフロー計	71	339	267

2023年度 通期業績予想

単位：億円（億円未満切捨て）

	2022年度 実績 ①	2023年度 予想			増減 (③ - ①)
		5/12公表 ②	今回公表 ③	増減 (③ - ②)	
売上高	7,800	6,800	7,050	250 4%	△ 750 △10%
営業利益	446	230	230	- 0%	△ 216 △48%
経常利益	555	300	350	50 17%	△ 205 △37%
親会社株主に帰属する 当期純利益	250	200	230	30 15%	△ 20 △8%

2023年度下期について、自動車関連製品及びサービスの受注や新エネルギー関連製品の販売は堅調に推移するものの、情報通信関連製品の販売や環境・リサイクル関連サービスの受注は前回予想を下回ると予想しています。相場環境については、上期末並みの水準が継続することを想定しています。加えて、電力代等のエネルギーコストは前回予想を下回る見通しです。

上期の実績及びこれらの事業環境を勘案した結果、2023年度通期の業績予想を修正しました。

セグメント別損益（2023年度通期） 5/12予想比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2023年度 予想（5/12公表）			2023年度 予想（11/10公表）			増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・リサイクル	1,434	99	100	1,470	98	105	36	△ 1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理単価の上昇 ・東南アジアでの受注減 ・為替差益の計上
製錬	3,425	45	100	3,170	49	118	△ 255	4	18	<ul style="list-style-type: none"> ・金属価格の下落 ・円安による利益増 ・電力単価の下落 ・持分法利益の増加
電子材料	1,209	8	23	1,700	6	27	491	△ 2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・近赤外LED・PDの減販 ・銀粉の増販 ・円安による利益増
金属加工	1,148	44	45	1,160	45	49	12	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連製品・サービスの需要増加
熱処理	332	28	30	330	23	29	△ 2	△ 5	△ 1	<ul style="list-style-type: none"> ・海外での熱処理受注の減少 ・一時金収入の受領 ・為替差益の計上
その他、 全社・消去	△ 748	6	2	△ 780	9	22	△ 32	3	20	<ul style="list-style-type: none"> ・持分法適用関連会社である藤田観光の利益増
合計	6,800	230	300	7,050	230	350	250	-	50	

セグメント別損益（2023年度通期）前年比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2022年度 実績			2023年度 予想（今回公表）			増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・リサイクル	1,480	111	119	1,470	98	105	△ 10	△ 13	△ 14	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理単価の上昇 ・不燃性廃棄物の再資源化の処理減 ・東南アジアでの受注減
製錬	4,336	227	331	3,170	49	118	△ 1,166	△ 178	△ 213	<ul style="list-style-type: none"> ・金属価格の下落 ・電力単価の上昇 ・持分法利益の減少
電子材料	1,382	29	45	1,700	6	27	317	△ 23	△ 18	<ul style="list-style-type: none"> ・近赤外LED・PDの減販 ・銀粉の増販
金属加工	1,161	53	55	1,160	45	49	△ 1	△ 8	△ 6	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信関連製品の減販 ・デリバティブ評価益の減少
熱処理	301	14	18	330	23	29	28	8	10	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連製品・サービスの需要増加
その他、 全社・消去	△ 861	9	△ 15	△ 780	9	22	81	△ 0	37	<ul style="list-style-type: none"> ・持分法適用関連会社である藤田観光の利益増
合計	7,800	446	555	7,050	230	350	△ 750	△ 216	△ 205	

セグメント別損益（2023年度通期）

単位：億円（億円未満切捨て）

	2023年度 実績 上期			2023年度 予想 下期			2023年度 予想 通期		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	727	55	59	742	42	45	1,470	98	105
製錬	1,852	48	95	1,317	0	22	3,170	49	118
電子材料	839	5	17	860	0	9	1,700	6	27
金属加工	550	19	21	609	25	27	1,160	45	49
熱処理	148	8	13	181	14	15	330	23	29
その他、 全社・消去	△ 410	4	11	△ 369	4	10	△ 780	9	22
合計	3,707	142	218	3,342	87	131	7,050	230	350

前提条件・感応度（2023年度下期）

感応度（営業利益/下期）

単位：億円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	146.0 円/\$	±1 円/\$	2.1
銅	7,900 \$/t	±100 \$/t	0.2
亜鉛	2,400 \$/t	±100 \$/t	2.6
インジウム	240 \$/kg	±10 \$/kg	0.3

※為替感応度の内訳は、製錬部門1.6億円、電子材料部門0.5億円です。

為替、金属価格

	2022年度			2023年度				(参考) 2023年 10月平均
	上期平均	下期平均	年度平均	上期前提	上期平均	下期前提	年度平均	
為替：(円/\$)	134.0	137.0	135.5	132.0	141.0	146.0	143.5	149.6
銅：(\$/t)	8,634	8,468	8,551	8,500	8,417	7,900	8,159	7,940
亜鉛：(\$/t)	3,597	3,067	3,332	2,800	2,484	2,400	2,442	2,449
インジウム：(\$/kg)	235	206	221	200	219	240	230	246

感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

投資の状況

単位：億円（億円未満切捨て）

	2020年度			2021年度			2022年度			2023年度 上期			2023年度 通期		
	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計
環境・リサイクル	181	4	185	102	4	107	80	5	85	55	2	57	115	7	122
製 錬	71	6	77	91	13	104	109	21	131	36	11	48	143	36	179
電 子 材 料	59	42	102	39	41	81	44	46	91	21	24	46	65	52	118
金 属 加 工	37	7	45	47	7	54	54	7	61	28	3	32	65	8	73
熱 処 理	16	2	18	15	2	18	15	2	18	6	1	8	31	3	35
全 社 、 そ の 他	26	0	25	29	0	30	37	1	38	17	2	20	22	3	25
合計	392	63	455	326	70	396	341	85	427	166	46	213	443	112	555

※製錬の研究開発投資額には、鉱山開発投資を含んでいます。

(参考) 減価償却費

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023年度 上期	2023年度 通期
環境・リサイクル	58	73	78	36	82
製 錬	44	46	57	28	61
電 子 材 料	29	39	35	17	44
金 属 加 工	32	33	33	17	42
熱 処 理	26	24	24	11	25
全 社 、 そ の 他	8	8	9	5	17
合計	200	225	239	117	273

■ 2023年度の主な投資

環境・リサイクル：焼却処理設備の改善、埋立処分場の拡張

製錬：事業基盤の整備、PGM原料前処理設備の増強

電子材料：半導体生産設備の増強

金属加工：伸銅品生産設備の増強

全社：基幹業務システムの更新

(参考) ヒストリカルデータ

■ 連結財務数値

単位：億円（億円未満切捨て）

		2021年度					2022年度					2023年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度
合計	売上高	2,079	2,153	1,886	2,198	8,317	2,099	1,918	1,911	1,871	7,800	1,909	1,797	-	-	-
	営業利益	196	182	143	115	638	193	107	66	78	446	73	69	-	-	-
	経常利益	282	192	170	115	760	232	136	84	101	555	126	92	-	-	-
	親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	199	126	115	69	510	130	96	45	△ 22	250	78	53	-	-	-
環境・リサイクル	売上高	338	322	331	358	1,350	365	350	387	377	1,480	371	355	-	-	-
	営業利益	31	35	37	22	126	31	20	36	22	111	31	24	-	-	-
	経常利益	30	35	42	28	136	34	23	35	25	119	35	23	-	-	-
製錬	売上高	1,182	1,136	976	1,261	4,556	1,150	1,095	1,050	1,040	4,336	1,033	818	-	-	-
	営業利益	128	103	68	61	361	112	65	5	44	227	29	18	-	-	-
	経常利益	147	124	88	68	427	143	92	25	69	331	64	30	-	-	-
電子材料	売上高	439	522	401	389	1,753	450	305	326	299	1,382	384	455	-	-	-
	営業利益	10	20	11	9	52	18	9	7	△ 5	29	△ 0	5	-	-	-
	経常利益	13	23	15	13	65	25	13	7	△ 0	45	7	10	-	-	-
金属加工	売上高	264	272	287	294	1,119	295	290	291	283	1,161	267	282	-	-	-
	営業利益	21	15	16	9	63	25	7	11	9	53	8	11	-	-	-
	経常利益	22	16	17	11	68	27	7	10	9	55	9	12	-	-	-
熱処理	売上高	58	65	70	94	289	62	70	77	90	301	67	81	-	-	-
	営業利益	3	5	6	9	26	1	3	4	5	14	1	6	-	-	-
	経常利益	4	6	7	11	30	3	4	4	6	18	4	8	-	-	-
その他、 全社・消去	売上高	△ 203	△ 167	△ 181	△ 200	△ 751	△ 224	△ 193	△ 223	△ 219	△ 861	△ 214	△ 196	-	-	-
	営業利益	1	2	1	1	7	3	0	1	2	9	2	2	-	-	-
	経常利益	64	△ 13	△ 0	△ 17	32	△ 0	△ 5	0	△ 9	△ 15	4	7	-	-	-

■ 為替、金属価格

	2021年度					2022年度					2023年度				
	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均
為替：(¥/\$)	109.5	110.1	113.7	116.2	112.4	129.6	138.4	141.6	132.3	135.5	137.4	144.6	-	-	-
銅：(\$/t)	9,711	9,372	9,698	9,985	9,691	9,526	7,742	8,006	8,930	8,551	8,478	8,356	-	-	-
亜鉛：(\$/t)	2,916	2,991	3,365	3,743	3,254	3,925	3,269	3,004	3,130	3,332	2,540	2,429	-	-	-
インジウム：(\$/kg)	198	209	260	247	229	240	230	204	209	221	197	241	-	-	-

DOWA

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。